木下福祉アカデミー
KINOSHITA GROUP
5分間 介護研修

座学編

～10・11月　介護予防及び要介護度進行予防・コミュニケーションとサービス情報の共有～

得点
/15

所属 事業所名		職種	
氏名			

研修日	西暦　　年　　月　　日（　　）　　：　　～　　：　　【　　時間】
研修場所	
研修名	5分間研修

1 介護予防の視点に関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

① 一括りに高齢者といっても、年代によっては体力等に差があるため、介護予防においても各年代に応じた考え方が必要。
（　**ア**　）層の場合は早くから老け込まないようからだを動かすことや、自分の（　**イ**　）に努める。
（　**ウ**　）層は家事仕事や（　**エ**　）を安易に遠ざけず、無理のない範囲でできることを行う。

② 運動器の機能向上に有効な取り組みとして、ストレッチングや（　**オ**　）、筋力向上トレーニングなどがある。

③ 口腔機能の向上には、（　**カ**　）・歯科衛生士・看護師などが歯科医師などと連携して取り組んでいる。

2 コミュニケーションに関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

① コミュニケーションとは人と人との関係における意思疎通のことであり、言葉・文字・（　**キ**　）などを活用して情報を相互に伝達することで、人間関係を築くための大切な手段である。

② 言葉や文字、点字、（　**ク**　）などを使う手段を言語的コミュニケーションといい、話すスピードや声の抑揚などで表されるものを（　**ケ**　）的コミュニケーションという。

③ 態度や表情、（　**コ**　）、身振りなどで表され、（　**サ**　）や細やかな感情が表現されやすいものを非言語的コミュニケーションという。

④ 利用者や家族からの信頼感や好感度を高めるためには、（　**シ**　）や服装を整えることも必要である。

3 サービス情報の共有に関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

① 記録を残す目的として、チームケアを行う職員全員で利用者の情報・支援目標・（　**ス**　）を共有することがある。

② 支援の過程を記録することで適切な支援を実践している（　**セ**　）を示すことができ、その記録に基づいて、我流の介護を行っている職員に対して正しいケアの指導・教育を行うことができる。

③ サービスに対して苦情や訴訟などが起こった際に、記録を見れば何が起きたのかを確認することができ、介護者側に問題がなければ、その（　**ソ**　）を示す証拠となる。

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	
キ		ク		ケ	
コ		サ		シ	
ス		セ		ソ	

4 今回の研修の学び　（採点終了後に記入してください）